



## 練習は嘘をつかない！強さを支える練習の絶対量に裏付けられた自信！

去る4月21・22日に行われた九州選抜卓球大会（熊本市総合体育館）に、本校男子卓球部が福岡県の4位として参加しました。予選リーグで大津北（熊本3位）に3-0で勝利し、明豊（大分1位）には0-3で敗れたものの、決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメントでは土々呂（宮崎1位）に1-3で敗れましたが、個人戦では樋口翔さんが三回戦まで進出しました。結果は納得のいくものではなかったかもしれませんが、県レベルを超え、九州レベルの舞台で試合ができたことは、選手にとっても本校卓球部にとっても大きな財産になったのではないかと思います。



また、同じく4月22日には大藤卓球大会（黒木）がありました。こちらには男女で出場して、団体男子は筑後北を3-0で下し、女子は昨年度県大会に出場した広川中を3-1で下してアベック優勝を成し遂げました。個人では男子の中尾勝哉さんと女子の平島麻椰さんが準決勝まで進出しましたが、接戦の末惜敗しました。

### 本校の部活動

卓球部以外にも、陸上部、駅伝部、バレー部、ブラスバンド部が朝練をしています。他に野球部や剣道部、空手部、水泳部も部員が少なかったり、常設でなかったりするものの、本校の部活動として運営しています。

多くの保護者の皆様も経験があると思いますが、中学校の部活動は基本的に3年間メンバーが替わらず、目的が明確なので、濃密な人間関係が形成されます。その中で部長と部員、ポジションやパート、戦術や演奏の共通理解、競技や合奏をする上での基本的な心構えや礼儀などを学び、自分なりの関係性を築いて人間的に成長できる舞台です。部員間でぶつかり、乗り越えていく経験も絆を深める大きな要因になります。



卓球部の強さの源は練習に裏付けられた自信だと思っています。いろんな攻めを想定した緻密な練習設計とそれを練習で一つ一つクリアしていく経験が、自分を信じる気持ち、すなわち「自信」を高めているのだと思います。また、卓球部内では常に競争があります。仲間であり、ライバルであり、越えたい壁であり、そんな中で育つ子どもは、「負けた言い訳」を探すのではなく、「強くなるためにどうしたらいいか」に自分の頭を使うはずで、立花中の校訓「英知・友愛・躍動」の精神が色濃く生きていて感じています。



左で述べたように、部活動は密接な関わりの中で課題を乗り越えていきます。そのため、一時的に人間関係がギクシャクすることがあります。昔は腹を割って話し合うしか方法がなかったのですが、現代はライン（LINE）に代表されるSNSが普及し、そこが陰口・悪口の温床となる場合があります。

**LINE等のSNSは、不特定多数の人が覗いている社会と直結しています。わが子を守るためにも、親の責任できちんと管理して使用させてください。** ※ 本校PTA作成の「携帯・スマホ宣言」をご参照ください。

- ※ LINE上の陰口・悪口は他者に向けられており、いじめとなります。また、LINE上のトラブルで学校に来られなくなった生徒が後に裁判を起し、勝訴した事例もあります。
- ※ SNSのサイト等から、知らないうちに違法にダウンロードを行い、著作権侵害により高校生が書類送検されるという事案も発生しています。

「立花中PTA 携帯・スマホ宣言」本年度中に下敷きにして配布されます。ご家族でご確認ください。

